

発行 / ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン 〒156-0004 東京都世田谷区赤堤 4-1-6 生活クラブ生協赤堤館2F HP <https://wnj.gr.jp/>
発行日 / 2022年7月 発行責任者 / 藤井恵里 ☎ 03-6265-7382 FAX 03-6265-7383 Eメール wnj_office@wnj.gr.jp

子連れで働ける託児室を作って、ママの笑顔を増やしたい!



私達「たすき星」は「ママのためのちいさな託児室 とまり木」を運営し、活動を通じて、幼い子どもを抱えるママたちの孤独感・不安感の解消に努めています。

集まった資金で託児拠点を作りたい!

とまり木では現在、交代制でスタッフの自宅を託児場所として週1回活動しています。しかし、毎回変わる場所に子どもが戸惑い、慣れるのに時間がかかります。また「託児日を増やしてほしい」という要望もあります。定まった拠点で環境を整え、託児日を増やしたいという私たちの思いにご賛同いただき、ご協力いただきますよう心よりお願い致します。

クラウドファンディングに挑戦します!

- 1,500円から応援することができます!
- 最終目標金額 150万円
- 募集期間 2022/7/1 ~ 2022/7/31
- ご協力頂いた方への返礼品の一例
 - とまり木託児無料利用券
 - みそづくり体験オンライン
 - 滋賀のこだわり自然素材石鹸セットなど



クラウドファンディング詳細は二次元コードから
その他の協力方法・直接寄付・銀行振込
tasukiboshi.w.co@gmail.com までご連絡ください。
現金書留 〒524-0002 滋賀県守山市小島町 1792-3
桃谷方「たすき星事務局」電話番号 080-5308-6637



滋賀に初めてのワーカーズ・コレクティブがもうすぐ誕生します!

2021年3月末に、生活クラブ滋賀でワーカーズ・コレクティブを作りたいたい組合員が登場し、生活クラブとしても運動方針をもって滋賀の第一号を作りたいたい。と支援依頼がありました。まずはワーカーズ・コレクティブを知るための学習会を2021年4月に開催し、その後着々と準備を始めました。WNJは現地、オンラインで設立伴走支援を行い、保育や食のマニュアル、届出や保険など、事業をしていくために必要なことを一緒に考え、設立に向けてサポートしてきました。同じ保育所に子どもを預けるお母さんたちが、仲間と一緒に子育てしながら助け合い、働きあう「子育て助け合いワーカーズたすき星」を設立します。

皆さんぜひ応援してください!

WNJではワーカーズ・コレクティブの設立支援のほか伴走支援、そのほか各種講座の講師派遣を行なっています。詳しくはWNJホームページ <https://wnj.gr.jp/> をご覧ください。

シリーズNo1 北海道編

ワーカーズ・コレクティブ連合組織から

北海道のワーカーズ・コレクティブ連絡協議会はワーカーズづくり、事業強化・支援、社会的認知を拡げることを目的に設立され、昨年35周年を迎えました。



札幌市を囲む、石狩市、北広島市、江別市に34団体、470名が地域に必要な事業を行っています。『食事づくり』『在宅福祉を支えるたすきあいワーカーズ』『子育て支援や学童保育』『地域の居場所・カフェ運営』『編集』『生協業務請負』など、会員はほとんどが女性です。各自治体とも連携し、福祉ニーズを解決するために、高齢者・障がい者福祉、高齢者配食サービス、親子ひろば、学童保育、相談事業所など福祉制度や委託、補助金事業にも参加しています。また、地域サロンの情報誌の発行、カフェなどを運営し地域の居場所として生活の課題を見つけ、解決するための活動や企画を開催することで「この街で暮らして良かった」につながるまちづくりをすすめています。



北海道の特徴の一つは豊かな自然の反面、冬の期間3~4か月は雪に覆われた生活です。訪問ヘルパーやベビーシッター、お弁当や生協の配送事業などは移動時間を考慮して仕事をしなくてはならず、効率優先とはいきません。子育て支援の現場では北海道外から転居された母親から「冬靴や雪遊びの服装の選び方、雪道の歩き方」などを尋ねられることもあります。一見不便な自然環境での暮らしの中から、大らかさや助け合うことの大切さを身につけていることは、ワーカーズ・コレクティブの協同する関係性づくりにつながっているようにも感じます。人々が孤立せず、支え合う暮らしを目指して、私たちは豊かな地域社会づくりを進めます。

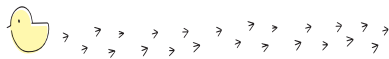
「Information」

事務所移転のご案内

2022年7月1日より事務所を下記に移転いたしました。組織の充実をはかり、新たな場を拠点として、さらにワーカーズ・コレクティブ運動を発展させてまいります。

新所在地 〒156-0004
東京都世田谷区赤堤 4-1-6
生活クラブ生協赤堤館 2F
電話番号 03-6265-7382
FAX 番号 03-6265-7383
Email info@wnj.gr.jp

最寄り駅
東急世田谷線 松原駅
徒歩2分



労働者協同組合法施行にむけたフォーラム

9月より厚生労働省によるフォーラムが全国7か所で開催されます。

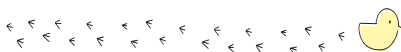
中国・四国ブロックフォーラム

日時：2022年9月3日（土）
13:30～16:30
会場：広島国際会議場 地下2階
（広島市中区中島町1-5）
対面・オンライン（Zoom）開催
事前申込制。
参加費：無料

共催 厚生労働省 広島市
鳥取県、島根県、岡山県、山口県、
徳島県、香川県、愛媛県、高知県（予定）
協力 日本労働者協同組合連合会、
ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン

参加申し込み 特設サイト

「知りたい！労働者協同組合法」
<https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/>



冊子販売のお知らせ

労働者協同組合法をやさしく解説！

編集：ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン
発行：一般社団法人 市民セクター政策機構
A5判 64頁 頒価 500円（税込）



ご希望の方は、
info@wnj.gr.jpへ
メールでお申込みください。

労働者協同組合法（ワーカーズ法）による
新たな連合組織づくりに向け活動しています

【神奈川】ワーカーズ法対応の連合組織準備会

チャンスを逃さず、チャレンジ！

2020年12月「労働者協同組合法」成立を受け「ワーカーズ・コレクティブを地域に広げ協同組合地域社会づくり」へのチャンスを逃してはいけないと思い、生活クラブ生協の委託を受けているワーカーズが話し合い、翌2021年2月に市民セクター発行のガイドブックを読み込みました。

日本には社会保障制度と労働諸法制があり、既に非営利組織として活動できるNPO法人があります。新たな法人格は、労働者性が求められ、そのことはネックにはなりますが、ディーセント・ワークを実現するという制定の意義からチャレンジを決意しました。

最初に呼び掛け人会的な組織をつくり、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会とNPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会に呼び掛け各組織の理事会で目的への承認を得て、協定書を交わして「ワーカーズ法（労働者協同組合法）対応の連合組織準備会」を設立しました*1。そして、地域で共に活動を進めるため、生活クラブにも呼び掛け、今後の運動転換を推進するための共有ビジョンをつくり、神奈川の中で「新たな中間支援組織の設立に向けた検討会」を進めています。

*1「ワーカーズ法対応の連合組織準備会」は神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会の元に設置されています。

「協同労働」と「地域に根差した社会的連帯経済」を軸にまちづくりを！

ワーカーズ・コレクティブ運動は1982年に生活クラブ神奈川が生活クラブのお店「デポ」の建設を契機に79人で設立したのが始まりで「働く人の協同組合」と表現してきました。協同組合のアイデンティティに関するICA 声明の7つの原則を受けワーカーズ・コレクティブの価値と7つの原則をつくり進めています。

「新型コロナウイルス」「震災や津波などの天変地異」「ウクライナの戦争」は、遠くで起きていることではなく、私たち地域で暮らす市民の身近な問題として捉えて解決することはばかりです。ワーカーズ・コレクティブの基本理念の自立、自由、民主主義、公正、平和の理念に基礎を置き、お互い様のたすけあいの気持ちと

相手を尊重する正直な態度を大切にする。そういう文化を地域で実践し・埋め込み（造成し）、地域の共有財（コモン）を人々の手によって取り戻すことによりまちづくりが進んでいくと考えています。

まずは各ワーカーズの取り組みを
基盤に進めます。

「ワーカーズ法対応の連合組織準備会」に集う各ワーカーズでは、2022年10月の施行に向けて、法人格取得の準備を進めると共に、ランチ制*2を活かし社会的連帯経済を進める準備を始めています。

一例では、キャリアはコモンズステーションづくりをすすめ、そこで働く人々を組織しています。W ワークだったり80歳以上の方だったり、社会貢献として関わりたいなど、新しいことを始めると多様な参加が見えています。

デポットはデポの拠点を活かしたアソシエーションづくりに向けて組合員と共に活動を始めています。そして組合員だけではなく、協同組合原則に掲げられているコミュニティへの関与を実践するために、地域の活動連携に取り組んでいきたいと考えています。

*2 団体としては1つだが、県内にいくつかの事業所があり、その1つひとつをランチと呼んでいます。

誰もが希望を持って生き・暮らし・働ける地域社会に

まちづくり運動をすすめるため、全てのワーカーズが体力をつくり、自立と連帯によって協同組合地域社会づくりの実践に向けて取り組んで、「共に働く」ことをキーワードにした神奈川の運動を進めていきます。

神奈川のワーカーズコープや県の雇用労政課とも協議テーブルを重ね、10月22日にフォーラムを開催します。

新しく地域で起業したい若い方、高齢になっても働きたい方等、多様な世代がワーカーズ・コレクティブで働き方の選択肢を広げ、地域を自治出来ることを発信し、誰もが希望を持って生き・暮らし・働ける地域社会につくり変えていきます。

（ワーカーズ法対応の連合組織準備会
事務局 五十嵐仁美）